

# 政務活動費を公表します

令和元年度政務活動費執行状況  
(平成31年4月～令和2年3月)

議員の調査研究活動のために交付される「政務活動費」を下記のとおり公表します。交付額は1人につき60,000円(月額5,000円)で、執行率は91%でした。

## 支出費目別内訳

(単位:円)

	交付額	調査研究費	研修費	広報費	資料作成費	資料購入費	支出合計	政務活動費分執行額	執行率
小松正真	60,000					19,280	19,280	19,280	32%
佐々木恵美子	60,000		15,000		19,800		34,800	34,800	58%
菊池浩士	60,000	63,233			7,411	23,940	94,584	60,000	100%
佐々木敦緒	60,000			13,750		49,404	63,154	60,000	100%
佐々木僚平	60,000					32,700	32,700	32,700	55%
小林立栄	60,000	15,769	33,933		5,967	10,380	66,049	60,000	100%
菊池美也	60,000	57,589			599	4,564	62,752	60,000	100%
萩野幸弘	60,000	35,689	33,680		2,360		71,729	60,000	100%
瀧本孝一	60,000	46,634				64,320	110,954	60,000	100%
多田勉	60,000	72,730					72,730	60,000	100%
菊池由紀夫	60,000				29,851	31,476	61,327	60,000	100%
菊池巴喜男	60,000	41,154	45,900			8,500	95,554	60,000	100%
照井文雄	60,000	47,294	45,900		41,949		135,143	60,000	100%
荒川栄悦	60,000		45,900			18,280	64,180	60,000	100%
安部重幸	60,000	72,729					72,729	60,000	100%
新田勝見	60,000	72,729					72,729	60,000	100%
佐々木大三郎	60,000		67,540		2,723		70,263	60,000	100%
浅沼幸雄	60,000	15,769				61,749	77,518	60,000	100%
合計	1,080,000	541,319	287,853	13,750	110,660	324,593	1,278,175	986,780	91%

※1人当たり交付額60,000円を超える支出については自己負担です。

「政務活動費」は、議員の調査研究、研修や市政の課題及び市民の意思を把握し、市政に反映させる活動に充てられますが、交付額を超過して支出した場合は自己負担となります。なお、残額93,220円については、遠野市の歳入に返還しました。

## 3月定例会議会運営に係るお詫び

3月定例会本会議において、「時期を逸している」という誤認から、提出された補正予算の修正動議を却下する結果となりました。

遠野市議会では議長を除く全議員で特別委員会を設置していることから、「予算修正は原案と同時の審査が必要で、委員会審査後には受け付けられない」と誤認していたことが原因です。

このような結果となりましたことについて、修正案の説明が出来なかった議員及び市民の皆様には深くお詫び申し上げます。

今後は、地方自治法や会議規則等の関係法令にとり、より開かれた議会を目指し、公平、公正かつ厳正なる議会運営に万全を期していく所存ですので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

遠野市議会議長 浅沼幸雄

## 全国市議会議長会表彰 伝達式

市議会議員を通算25年以上務めた功績により、新田勝見議員が全国市議会議長会から特別表彰を受けました。



# 学んで 行動する 議会へ

## 市政調査会

調査日 令和2年5月26日  
参加議員 17名

### 「いども本の森」の舞台、 旧三田屋を調査

世界的に有名な建築家安藤忠雄氏からの提案を受けた「いども本の森」構想について、整備場所となる旧三田屋の現況と事業の進捗状況について、市民センター文化振興担当部長から説明を受けた。旧三田屋は、道路面の開口も裏庭も広い。外観は古民家のイメージ

ジを残し、屋内は木のぬくもりが感じられ、子ども達がワクワクする明るい空間にしたいとのこと。  
また、店舗裏には土蔵があり、お祭りの詰所としての活用等、地域の方々も利用できる構想を検討していくとのことである。  
今後は安藤忠雄建築研究所と覚書を締結し、令和3年7月オープンする計画であった。

### 新型コロナウイルス感染症対策等に係る取り組み状況について調査

10回以上にも及ぶ感染症対策本部の取り組み状況、6月定例会に上程予定の経済対策事業、予防対策事業としての一般会計補正予算と市内施設の利用状況等を調査した。  
その他、5月11日から、あすもあ1階に商業工業総合相談窓口を設置し、職員が対応しているとの説明があった。



## 議会運営委員会

### タブレット導入等検討特別委員会

研修日 令和2年3月24日  
参加議員 議会議長 菊池 由紀夫  
副議長 瀧本 孝一  
議員 佐々木 僚平 菊池 巴喜男  
荒川 栄悦 小松 正真

### タブレット端末を活用した議会運営について 久慈市議会にて研修

久慈市議会の議会基本条例には、ICTの積極的な活用が明記されている。  
【ICT導入事例】  
● 会議へのパソコン類の持ち込みを許可  
● 各会派室にノートパソコン導入  
● 議事中継システムを更新  
● 議会事務局SNSを開設  
● タブレット保有者の増加に伴い講習会を開催

● 本会議場でプロジェクトを活用  
● 議会棟に無線LAN回線を整備(Wi-Fi接続を可能に)  
● 平成28年に全議員がタブレットを所持  
● 議会スケジュールの共有管理体制を整備(クラウド版のグループウェア)  
● 議会運営におけるタブレット端末の活用  
● 会議開催通知の電子化  
● ペーパーレス会議  
● スケジュールの電子共有化(委員会、会派等で個別に設定可)

導入のメリットは、会議等の日程確認が容易となり、また、資料等の送受信が早くなり迅速に情報共有が図れる。デメリットは、慣れるまでの操作、購入費通信費の負担、端末機器によっては資料が読みにくいことである。  
今回の行政視察は、遠野市議会におけるタブレット端末等の導入にあたって、最終的な先行自治体・議会の視察研修であった。今後、具体的に議員間での協議が進むことになる。  
Wi-Fi環境の強化、端末の選定、導入負担や月々の通信経費をどのようににするか等、政務活動費や視察研修のあり方を含めた議論が必要である。